

適用機種  
CBR250S3A

## クイックシフト 取付説明書

販売店様へ

この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

この取付説明書は、必ず保管してください。

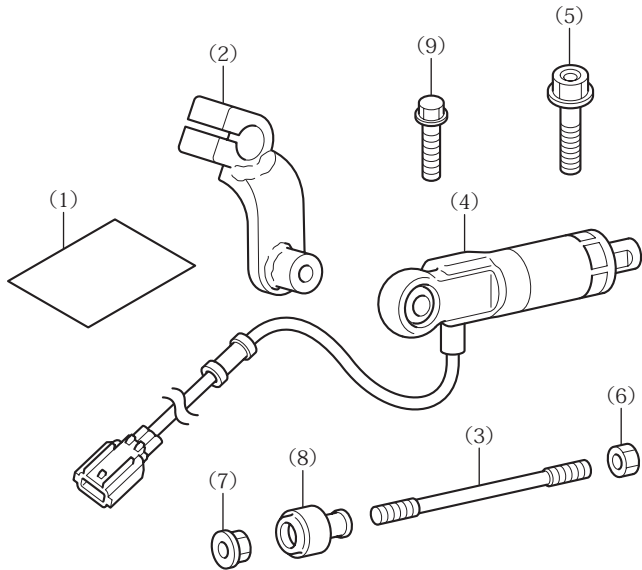
シンボルマークについて

下記のシンボルマークは、本書を通して作業上の注意事項を表示しています。

- 危険** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
- 警告** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性のあるもの
- 注意** 指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの
- アドバイス** お車と用品のために守っていただきたいこと
- 知識** 知っておいていただきたいこと知っておくと便利なこと

## 構 成 品

取扱説明書及び取付要領書が同梱されているときは、必ずお客様にお渡しください。



見出し番号	部品名称	個数
(1)	URL ベーパー	1
(2)	ギアチェンジアーム	1
(3)	タイロッド	1
(4)	ストロークセンサ	1
(5)	7 mm フランジボルト [7 x 30 mm]	1
(6)	6 mm ナット	1
(7)	6 mm フランジナット (左ねじ)	1
(8)	ブーツ	1
(9)	6 mm SH フランジボルト (ALOC ボルト) [6 x 20 mm]	1

## 必 要 工 具

- ソケットレンチ (8、10 mm)
- ラチェット
- スパナ (10 mm)
- 定規
- 車両の部品の取り外し、取り付けに必要な工具は、サービスマニュアルを参照してください。

## トルクについて

- 各スクリュー、ボルト、ナットの締め付けトルクは下記の表に従って締め付けてください。また、車両の部品の締め付けトルクはサービスマニュアルを参照してください。

種類	N・m	kgf・m
6 mm ナット	10	1.0
6 mm フランジナット	10	1.0
6 mm SH フランジボルト	10	1.0
7 mm フランジボルト	12	1.2

## 取 付 について

### 警告

- 各スクリュー、ボルト、ナットは確実に締め付けてください。締め付けが不確実なときは走行中に脱落し、運転者または後続車の乗員や歩行者を死亡または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

### 注意

- 取り付け作業はエンジン、マフラーが完全に冷えてから行ってください。高温のまま作業を行うと、火傷などを負う可能性が高くなります。

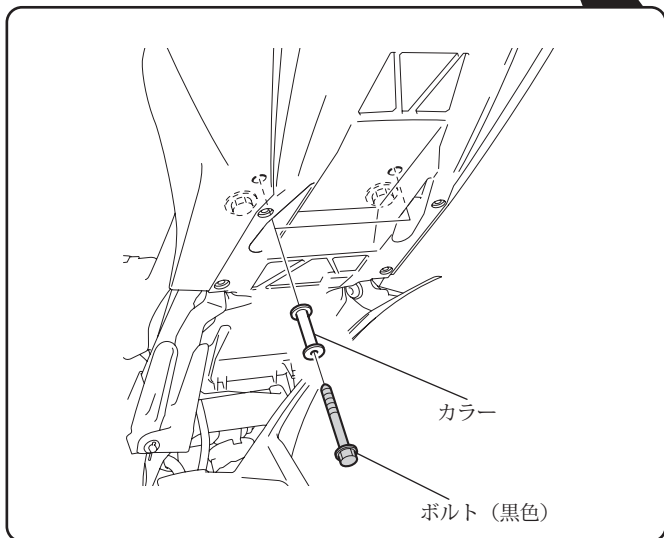
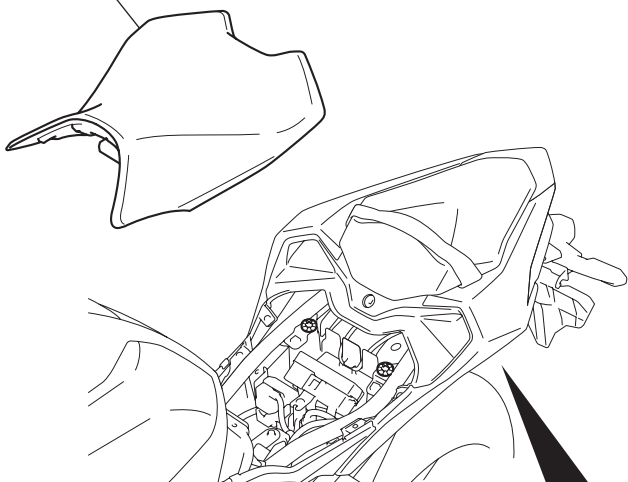
### アドバイス

- 部品の脱着をするときは、塗装面への傷付きに注意して作業をしてください。
- 取り外した部品は、元の仕様に戻すとき必要になりますのでお客様にお渡しください。
- 外装部品などの再取り付け時、配線類のかみ込みがないことを確認してください。
- 取り付けは、必ずバッテリー (-) ケーブルを外してから行ってください。
- バッテリーを再接続したときは、車両のオーナーズマニュアルを参照して時計を設定してください。
- 取り付け完了後、灯火器 (ヘッドライト、左右のウインカー、ブレーキライト) の作動確認をしてください。

# 取付方法

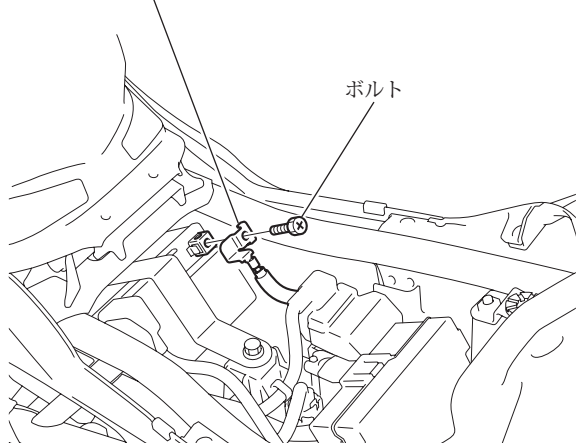
1. 車両部品の取り外し  
1) 図の車両部品を取り外す。

フロントシート

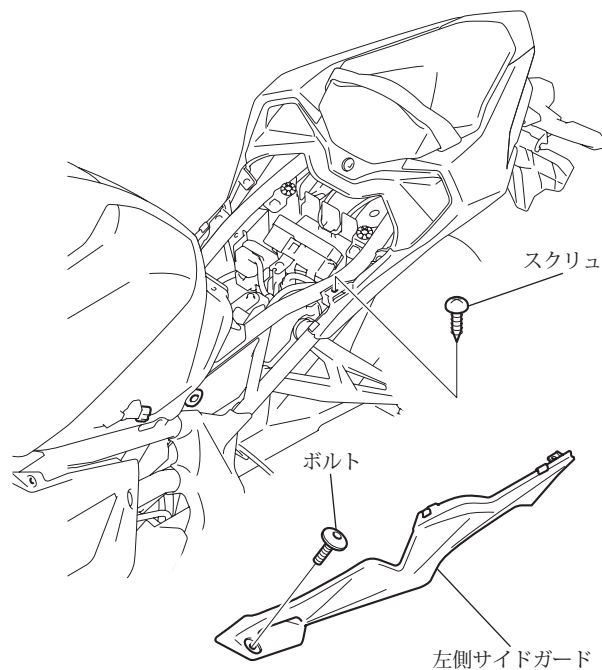


- 2) 図のようにバッテリー (-) ケーブルの接続を外す。

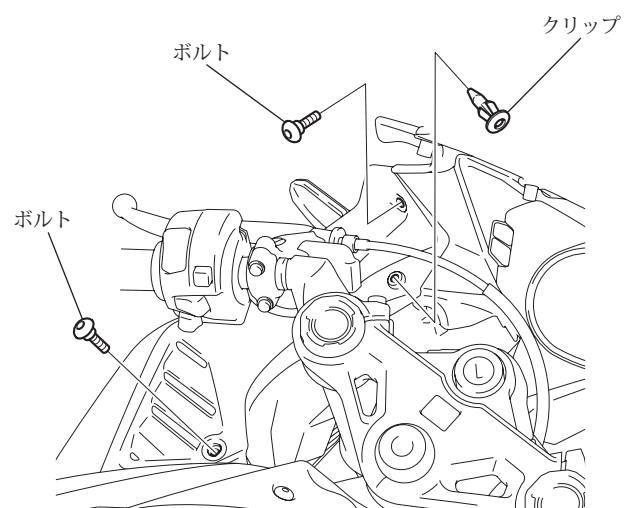
バッテリー (-) ケーブル



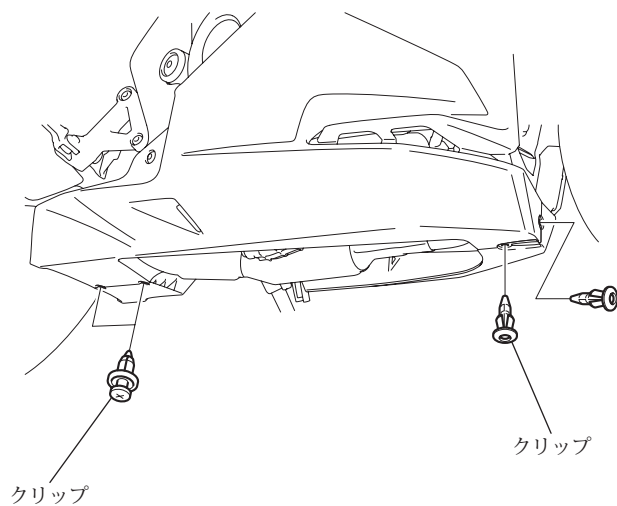
- 3) 図の車両部品を取り外す。



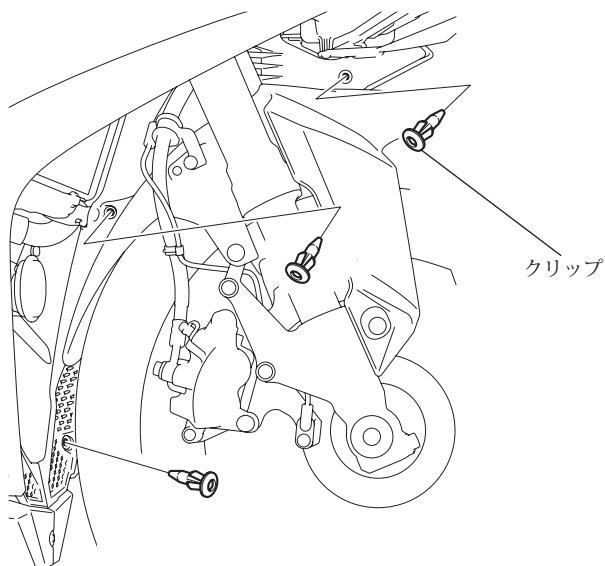
- 4) 図の車両部品を取り外す。



- 5) 図の車両部品を取り外す。

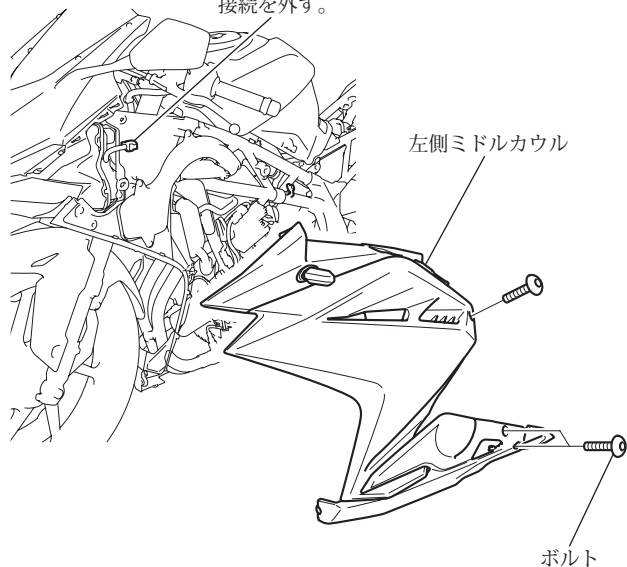


6) 図の車両部品を取り外す。

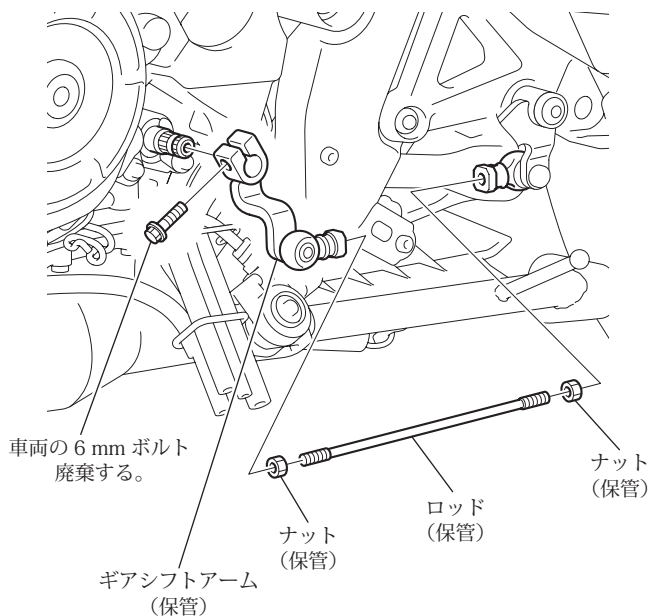


7) 図の車両部品を取り外す。

カプラ  
接続を外す。

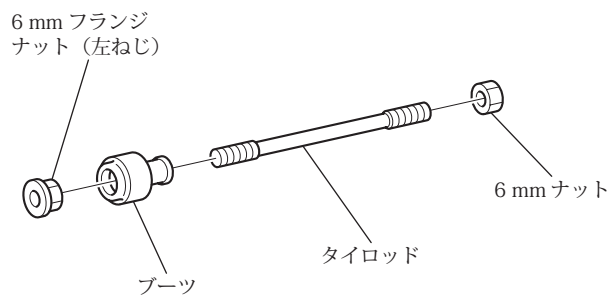


8) 図の車両部品を取り外す。



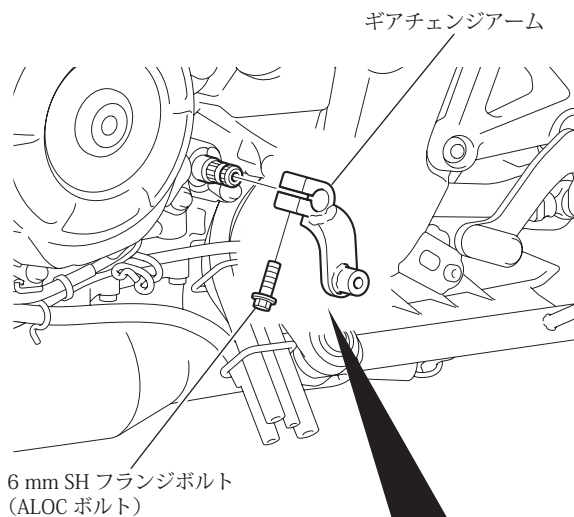
2. クイックシフタの取り付け

1) 図のようにタイロッドを組み立てる。

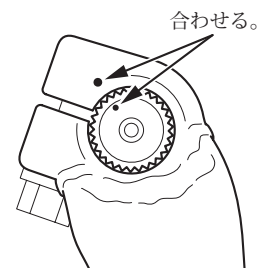


2) 図のようにギアチェンジアームを取り付ける。

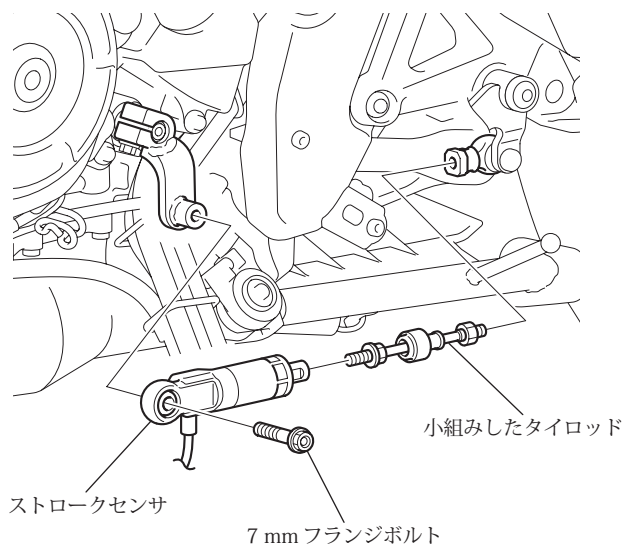
・車両の 6 mm ボルトは再使用禁止です。



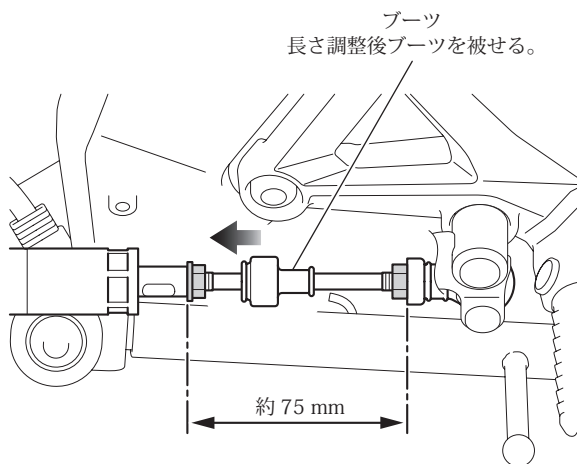
ギアチェンジアームとシフトスピンドルの  
ポンチマークを合わせる。



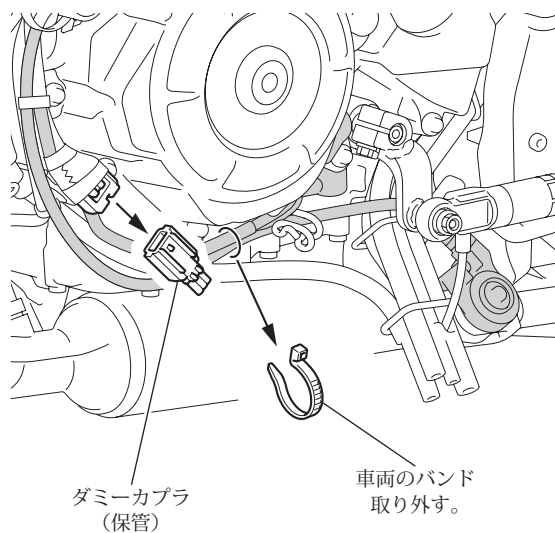
3) 図のようにストロークセンサを取り付ける。



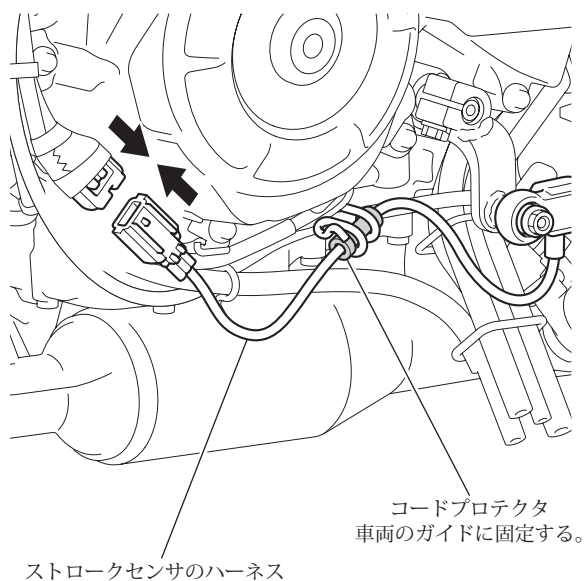
- 4) 図のようにタイロッドの長さを調整する。  
 ・長さ調整後、タイロッドの各ナットを締め付けてください。



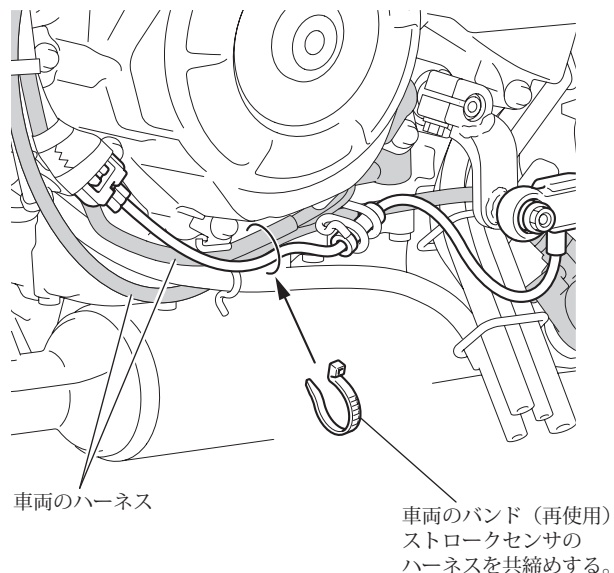
- 5) 図の車両部品を取り外す。



- 6) 図のようにストロークセンサのハーネスを接続する。

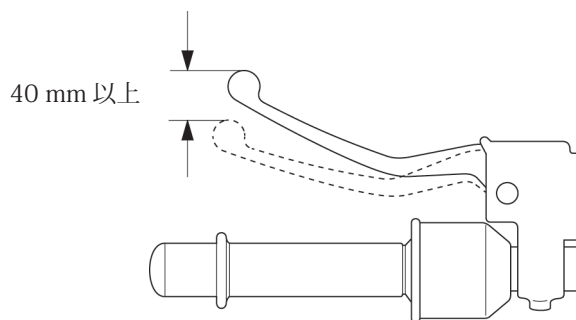
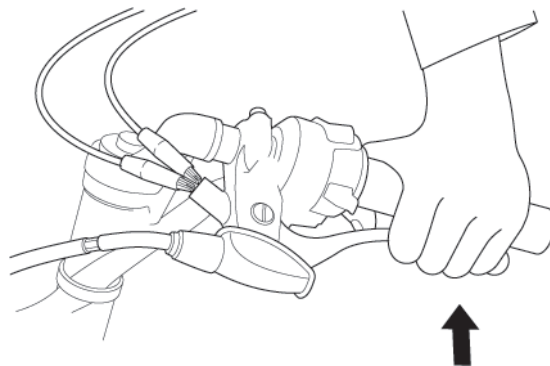


- 7) 図のようにストロークセンサのハーネスをバンドで固定する。



### 3. クラッチスイッチ作動確認

- 1) レバーの遊びが標準 (10-20 mm) 状態であることを確認する。
- 2) クラッチスイッチコネクタの端子を外し、テスターを取り付ける。
- 3) クラッチレバーを引き、レバー先端から 40 mm 以上の位置で導通があることを確認する。



#### 4. 車両部品の取り付け

- 1) 取り外しの逆手順で、取り外した車両部品を取り付ける。  
・ハーネスのかみ込みがないようにしてください。
- 2) クイックシフト装着設定を参照して、クイックシフトを装備状態に設定する。

#### 知識

- ・クイックシフトの設定方法は、純正アクセサリ取扱説明書をお読みください。

#### 操作インストラクション

本製品は加速中、減速中にアップシフト・ダウンシフトをするときに、クラッチ操作なしでシフトチェンジを可能にしています。

(アップシフト時に必要なエンジン回転数が 1,500 rpm 以上で、ダウンシフト時にはアイドル回転数以上が必要です。)

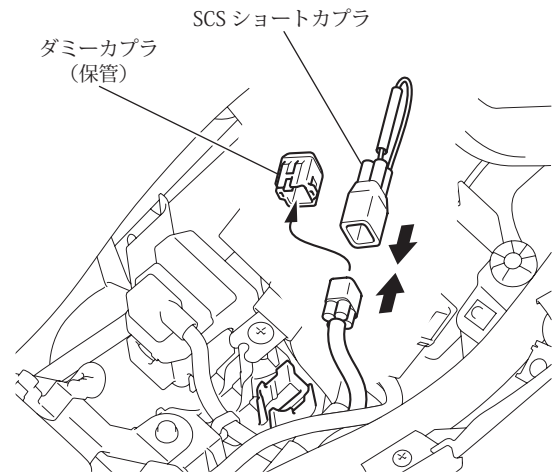
- ・ギアポジション表示が異常の場合、シフトフィーリングが変わります。
- ・シフトチェンジが異常のときは、クラッチレバーを使用した通常通りのシフトチェンジ操作が可能です。

加速中、減速中にシフトペダルの操作で、アップシフト・ダウンシフトができない場合、故障の可能性あります。クイックシフトのトラブルシュートについては、サービスマニュアルを参照してください。

## クイックシフト装着設定

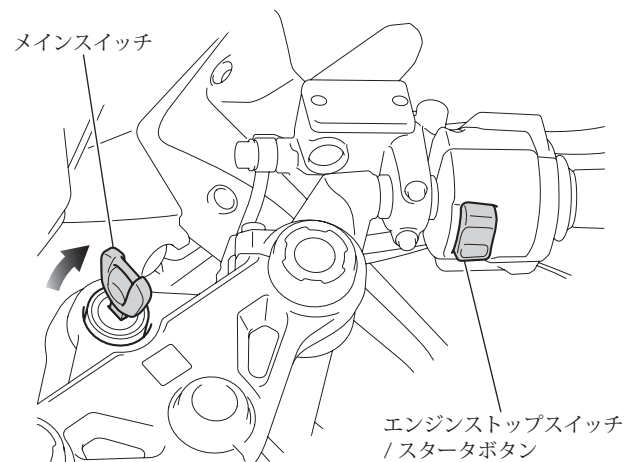
SCS ショートカプラを使用してのクイックシフトの機能を ON/OFF 設定する手順

- 1) SCS ショートカプラを DLC (サービスチェックカプラ) に接続する。



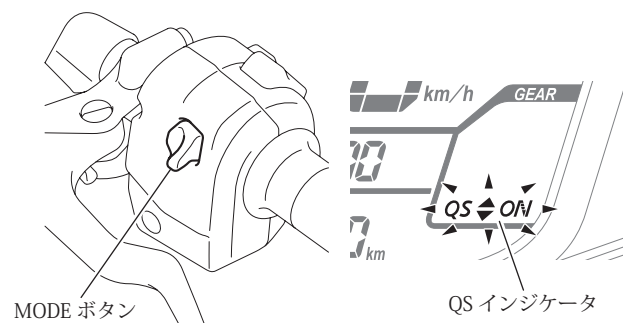
- 2) エンジンストップスイッチ "Q" で、メインスイッチを ON にする。

- ・このとき、エンジンを始動しないでください。



- 3) MODE ボタンを押して、クイックシフト (QS) インジケータが点灯した状態 (クイックシフト装備状態) にする。

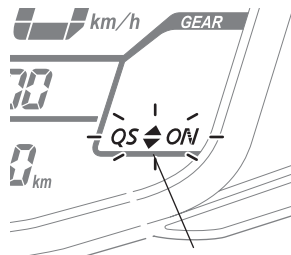
- ・QS インジケータ部分が変わらない場合は、最初からやり直してください。
- ・QS インジケータが消灯している場合は、クイックシフトの機能が OFF の状態です。



## ドラムアングルセンサ学習方法

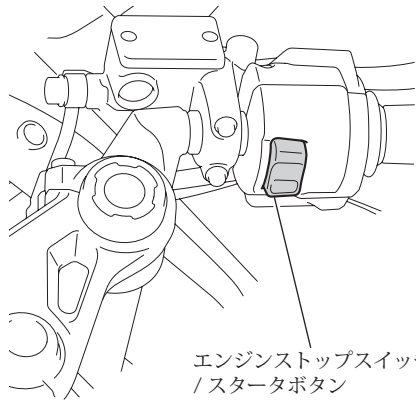
SCS ショートカプラを使用する学習手順

- 1) ~ 3) までの手順は、クイックシフト装着設定と同様です。
  - 1) SCS ショートカプラを DLC (サービスチェックカプラ) に接続する。
  - 2) エンジnstoppスイッチ "O" で、メインスイッチを ON にする。
    - このとき、エンジンを始動しないでください。
  - 3) MODE ボタンを押して、クイックシフト (QS) インジケータが点灯した状態 (クイックシフト装備状態) にする。
    - QS インジケータ部分が変わらない場合は、最初からやり直してください。
  - 4) MODE ボタンを押し続けて、QS インジケータを点滅状態にする。



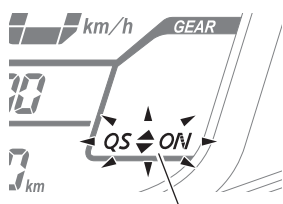
QS インジケータ

- 5) トランスミッションをニュートラルの位置にする。
  - ニュートラルにした後は、ギアチェンジペダルを操作しないでください。
- 6) エンジンを始動して、アイドル状態にする。
  - スロットルグリップを操作しないでください。



エンジnstoppスイッチ / スタータボタン

- 7) QS インジケータが点灯することを確認する。(学習完了)
  - QS インジケータが点滅を続ける (点滅周期が変わる) 場合、学習が完了していないため、クイックシフトまたはドラムアングルセンサの取り付け状態を確認した後、最初から学習手順をやり直してください。



QS インジケータ

- 8) メインスイッチを OFF にして、SCS ショートカプラの接続を外す。(QS のイニシャル設定は OFF 状態)
  - 学習完了後は純正アクセサリ取扱説明書に従ってクイックシフトの設定 (ON/OFF 切替) を行ってください。